

I 実践

1 研究主題 「人権尊重の精神の涵養を目指す人権教育の推進」 ～教育活動全体を通じた生徒の人権感覚や人権意識の育成～

(1) 主題設定の理由

各教科・領域，総合的な学習の時間など教育全体を通して，自分とは異なる立場の人を理解する学習を行ってきた。しかし，人権における課題は多く，全ての生徒が，相手の立場や考えを尊重し，自分のこととして考える態度や差別や偏見の不当性などを実感して理解するまでに至っているわけではない。

そこで，授業や講演会を通して知識を伝えると同時に，体験や活動を通して自分と立場の違う人を理解し，思いやりをもった生徒を育成できるように，この主題を設定した。

(2) 研究の内容

- ア 総合的な学習の時間や委員会活動を通してボランティア精神を育成する。
- イ 道徳の授業を通して人権の意識を高める。
- ウ 生徒会活動や各種活動を通して人間関係を深める。
- エ 外部講師による講演会を通して人権に関する情報や知識を得る。

2 実践内容

(1) 毎年度継続的に実施している活動

- ア 生活委員会を中心とするあいさつ運動
- イ スクールカウンセラー指導によるピアサポート研修会
- ウ 外部講師による情報モラル講演会・性教育講演会
- エ 生徒会企画による茨城朝鮮初中高級学校との相互交流による国際理解
- オ 福祉委員会の呼びかけによる地域の敬老会・福祉のつどいへの参加
- カ 先輩と後輩の交流を深める縦割り給食会

(2) 今年度実施した活動

- ア 全校生徒を対象にした「いのち」の大切さに関する道徳の授業
- イ 1学年のIBI（いじめ撲滅委員会）の結成

(3) ピアサポート研修会

スクールカウンセラーの先生を講師として，ピアサポーターを希望した生徒が1年間を通して研修を受ける。年間7回を予定し，2学期までに5回実施した。好ましい人間関係づくりや友だち同士による相談活動のためのエクササイズを行った。3学期は研修で実践したことを学級で実践する予定である。



	主な活動	ねらい
第1回	・バースディー・リング ・スゴロクトーク	・非言語コミュニケーション ・開かれた質問をする
第2回	・心のキャッチボール ・プラスのストローク・ほめ上手	・プラスのストロークを待っている仲間の存在を知る
第3回	・トラストウォーク ・積極的な話の聞き方TELORについて ・役割カードによるロールプレイ	・信頼感の醸成
第4回	・エゴグラム	・自己理解と対応
第5回	・私の断り方 ・上手なNOの言い方，ロールプレイ	・自己主張してもよいことを学ぶ

(4) 「いのち」の大切さに関する道徳の授業

全校生徒を対象に授業を設定し、学級や学校の友人たちも自分と同じように愛され、求められて生まれてきた存在であることと、自分と同じように他者のことも尊重し、大切にしなければならないことをねらいとして実施した。出産を経験した本校職員がスライドにして胎児の様子を説明し、命の尊さを語った。



時間	授業形態	活 動
0 - 5	全体	導入。「本時の授業は“いのち”についてです」
5 - 10	各自	あなたの名前の由来を教えてください。
10 - 15	グループ	名前の由来を発表しあう。(グループごと時計回り)
15 - 20	各自	将来自分の子供に名前を付けるとしたらどのような名前をつけた いか考える。
20 - 30	全体	本校職員の出産の体験談を聞く(メモを取りながら)
30 - 35	全体	「名前は、親が子供に送るはじめての手紙」の文を読む。
35 - 45	全体	教師の話聞く。(ワークシート)
45 - 50	各自	本時の感想を書く。

(5) I B I (いじめ撲滅委員会)の結成

1年生は、2、3年生より日常的に些細なトラブルが多いのが現状である。そこで1学年ではI B Iの組織を立ち上げ、「いじめ0!! 一人一人の心をクリーンな心にしよう」のスローガンのもとに11月にI B Iの発足集会を行った。現在、組織固めをしているところである。I B Iはいじめが起こらないような学校の雰囲気を作り、いじめや悪ふざけを事前に防止することが目的である。右のような決まりや組織を作り、局長、副局長と小隊にそれぞれ教師が顧問として指導する。

< I B I 憲法 >

第一条 すべてのI B I隊員は、いじめをしてはいけない。そしていじめを見逃しはいけない。

第二条 すべてのI B I隊員は、他の生徒の秘密を守る。守秘義務がある。

第三条 すべてのI B I隊員は常に笑顔で心がける。

局長・副局長

一番隊 (みんなを救い隊)
 二番隊 (みんなを守り隊)

 十番隊 (みんなの夢を守り隊)

3 成果

- ピアサポート研修会は茨城朝鮮初中高級学校との相互交流と同様に地道に長く続いている活動である。自分とは違う他者を理解し、人を思いやる心や友だちを大事にしようという気持ちや育っている。毎年、とりわけ人間関係が苦手な生徒も積極的に参加している。
- 今年実施した「いのち」の大切さに関する道徳の授業を通して名前の由来を紹介しあったり、生まれてくる胎児のスライドとを通して自分の命や他者の命の尊さを真剣に受け止めることができた。
- 1年生で立ち上げた「いじめ撲滅委員会」は、組織を整え、具体的な活動の方向性を検討している段階であるが、意欲的に入隊する生徒が多く、意識の高まりが見えてきた。また、些細なトラブルも少なくなった。

II 今後の課題

様々な体験活動によって人権感覚や意識を養うことができているが、さらに、継続かつ充実した活動によってその感覚や意識を磨き、人権に関する知識や情報を実感として理解させていきたい。例えば、ピアサポート研修会など長く継続的に実施している活動は、より多くの生徒に広められるよう工夫していきたい。